

【附属リカレント教育センター】

## 遠隔授業の方法及び受講者側の準備について

2020年4月22日

受講を希望するみなさまへ

下関市立大学附属リカレント教育センター  
センター長 韓 昌完

この春学期においては、Microsoft Teams を用いた遠隔授業を導入する予定です。使用するツールや授業方法に関する詳細等は、選考結果通知時にお知らせします。つきましては、受講を希望される方はあらかじめ、各自遠隔授業のための機器及びインターネット環境の準備を行っておいてください。

### 1. 機器の準備 ▶ p.3 『機器の準備』 確認方法

遠隔授業を行える機器をお手元に準備してください。遠隔授業の方法は、教員と受講生が双方向に対話する『ライブ型』となりますので、カメラ及びマイク機能を使用します。特に、受講生の参加状況の確認は画面上で行いますので、授業中はカメラの設定はオンにしてください。

また、PC やモバイル機器本体のマイクやスピーカーでは声を聞き取りづらい場合がありますので、外付けのスピーカーやイヤホン（又はヘッドホン）、マイク等の音声デバイスを準備いただくことを推奨します。ただし、機器に内蔵されているものでも受講に支障はありません。

### 2. インターネット環境の準備

受講をされる場所からのインターネット環境を整えてください。講義は、『ライブ型』のため、光回線やモバイル Wi-Fi などの安定したインターネット環境を推奨します。スマートフォンなどのモバイル通信（LTE など）による通信は、使用制限や料金の高額化、接続不安定などによって、受講に支障が出るのが予想されますので、受講の前にインターネット環境の確認をお願いします。

▼ 『インターネット環境の準備』確認表

光回線※1		モバイル Wi-Fi※2		モバイル通信※3
端末と LAN ケーブルで繋げる	ルーターを設置して 端末と無線 LAN で繋げる	端末と LAN ケーブルで繋げる	端末と無線 LAN で繋げる	
◎	○	○	○	×
推奨	受講可能			適さない

※1 光回線とは、工事によって光ファイバーケーブルを引き込むことで光コンセントを設置するものです。有線のため、通信は高速で安定性があります。

※2 モバイル Wi-Fi は工事不要で、専用機器を設置するだけで、無線電波を利用して端末をインターネットに繋いでくれるものです。無線のため、光回線に比べると若干安定性は落ちますが受講に問題はありません。

※3 モバイル通信はパケット通信とも呼ばれ、無線電波を利用して直接端末をインターネットに繋げるものです。通信量の制限が厳しく、不安定なため遠隔授業のようにビデオを繋げ続けるには適しません。

### 3. 著作物について

講義中に配布（配信）される資料等については、本センターが行う講義の学習以外での無断使用（二次加工・他媒体への転載を含む）の一切を原則禁止とします。SNS 等への投稿を希望される場合には、必ず授業担当教員に相談の上、画像掲載の許可を得てください。

準備が難しい方への対応については、個別に対応致しますので下記までお問い合わせください。

**【お問い合わせ】**

下関市立大学附属リカレント教育センター  
 TEL.083-250-6162 FAX.083-250-6163  
 E-mail.recurrent@shimonoseki-cu.ac.jp

## 『機器の準備』 確認方法

- ① PC・Android・iPhone・iPad など、お手持ちの機器はありますか？
- ② PCをお持ちの方、PCにはカメラ・マイク・スピーカーが内蔵されていますか？



- Windows : Windows 7以降  
\*1GHz以上のx86またはx64ビットプロセッサ(SSE2対応) /  
メモリ1GB RAM (32ビット)/2GB RAM(64ビット) /使用可  
能ディスク領域3GB /解像度1024 x 768
- Mac : macOS  
\*Intelプロセッサ /メモリ4GB RAM /6GB HFS+ハード  
ディスク形式 /解像度1280 x 800



- Android : KitKat (4.4.X) 以上
- iPhone/iPad : iOS 10.0 以降



PCとは別に**外付機器**を準備する  
必要があります！

- ・カメラ
- ・マイク
- ・スピーカー  
(イヤホンorヘッドホン推奨)



PCだけあれば受講可能ですが、  
イヤホンやヘッドホンがあると、  
より良い学習環境が整うでしょう



AndroidやiPhone、iPadさえあ  
れば受講可能ですが、イヤホン  
やヘッドホンがあると、より良  
い学習環境が整うでしょう

